

平成30年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年12月29日

上場会社名 株式会社シベール 上場取引所 東
 コード番号 2228 URL http://www.cybele.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)黒木誠司
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)本田政信 (TEL)023(689)1131
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第1四半期の業績(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	596	△15.1	△105	—	△103	—	△78	—
29年8月期第1四半期	702	△2.9	△109	—	△109	—	△81	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第1四半期	△54.43	—
29年8月期第1四半期	△56.40	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第1四半期	3,249	1,096	33.7
29年8月期	3,232	1,199	37.1

(参考) 自己資本 30年8月期第1四半期 1,096百万円 29年8月期 1,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
30年8月期	—	—	—	—	—
30年8月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,964	△3.2	24	—	30	—	32	—	22.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年8月期1Q	1,806,800株	29年8月期	1,806,800株
30年8月期1Q	370,047株	29年8月期	370,047株
30年8月期1Q	1,436,753株	29年8月期1Q	1,436,800株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6
3. その他	7
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等	7
(2) 生産及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の月例経済報告国内景気基調判断によりますと、引き続き「緩やかな回復基調が続いている」と判断されているものの、一般には、はっきりとした回復を実感出来ない状況が続いていると考えております。当社の事業が依存する個人消費につきましても、「緩やかに持ち直している」とされておりますが、やはり、力強さを実感出来ておりません。

このような環境の下、地域社会になくってはならない存在となるべく、中期事業計画を策定しつつ諸施策を実施して参りました。

しかしながら、通信販売において、平成29年10月に宅配業界の値上げに伴い送料を上げざるを得なかったことや、長年親しまれた「麦工房」の通販ブランドを廃止し「シベール」の店舗ブランドへの一本化により、一時的にお客様に混乱を招いたことや、不採算店舗の閉鎖等を積極的に実施したことから、全社売上高は前年同期に比べ15.1%減少し、596百万円となりました。損益につきましては、売上高の大幅な減少に係わらず販売費及び一般管理費の削減に努めたこと等から、営業損失105百万円(前年同期109百万円)、経常損失103百万円(前年同期109百万円)とそれぞれ若干の改善をみる事が出来ました。四半期純損益につきましても、繰延税金資産が増加したこと等から、四半期純損失78百万円(前年同期81百万円)と幾分改善しました。

報告セグメントごとの業績の概況につきましては、以下の通りです。

(通信販売)

お客様の特性に応じたきめ細かなフォローを行う「顧客数増加重視方式」の効果が現れず、かつ、前述の送料値上げ等が響き、売上高は113百万円(前年同期157百万円)と大幅減となりました。セグメント利益又は損失(営業利益又は損失)につきましても、売上高の大幅な減少から悪化し、セグメント損失18百万円(前年同期15百万円)となりました。

(店舗販売)

売上高は、不採算店舗の閉鎖を進めたこと等から前年同期に比べ11.3%減少し、483百万円となりました。一方、セグメント利益又は損失(営業利益又は損失)は、販売費及び一般管理費の削減が進んだこと等から、前年同期に比べ若干増加し、セグメント利益1百万円(前年同期はセグメント損失2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は3,249百万円となり、前事業年度末に比べ16百万円の増加となりました。これは、有形固定資産が減価償却により10百万円減少した一方、流動資産がたな卸資産の増加等により16百万円増加、また投資その他の資産が10百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債合計は2,153百万円となり、前事業年度末に比べ119百万円の増加となりました。これは、短期借入150百万円の実施に伴い流動負債が増加した一方、固定負債は長期借入金の返済が進み19百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産は1,096百万円となり、前事業年度末に比べ102百万円の減少となりました。これは、四半期純損失78百万円の計上、剰余金の配当21百万円の実施等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月期の業績予想につきましては、平成29年11月15日に公表しました内容に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	186,506	185,096
売掛金	69,379	55,350
たな卸資産	85,103	111,360
その他	48,835	54,193
貸倒引当金	△434	△347
流動資産合計	389,390	405,653
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,324,555	1,309,735
機械及び装置(純額)	73,357	78,914
土地	1,097,047	1,097,047
その他(純額)	135,356	133,927
有形固定資産合計	2,630,315	2,619,624
無形固定資産		
	10,190	10,839
投資その他の資産		
投資有価証券	54,395	51,579
その他	148,750	162,155
貸倒引当金	△262	△257
投資その他の資産合計	202,882	213,476
固定資産合計	2,843,389	2,843,941
資産合計	3,232,779	3,249,594
負債の部		
流動負債		
買掛金	93,363	88,324
短期借入金	-	150,000
1年内返済予定の長期借入金	354,759	354,759
リース債務	2,381	2,381
未払金	117,772	133,773
未払法人税等	14,615	3,649
賞与引当金	2,750	10,000
ポイント引当金	15,715	13,529
株主優待引当金	12,800	-
資産除去債務	11,350	8,850
その他	32,359	31,230
流動負債合計	657,868	796,498
固定負債		
長期借入金	1,313,643	1,294,553
繰延税金負債	477	-
リース債務	17,266	16,670
資産除去債務	38,918	39,729
その他	5,595	5,595
固定負債合計	1,375,899	1,356,548
負債合計	2,033,768	2,153,047

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	488,355	488,355
資本剰余金	554,141	554,141
利益剰余金	995,166	895,417
自己株式	△851,156	△851,156
株主資本合計	1,186,505	1,086,757
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,505	9,790
評価・換算差額等合計	12,505	9,790
純資産合計	1,199,011	1,096,547
負債純資産合計	3,232,779	3,249,594

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
売上高	702,442	596,593
売上原価	413,427	363,498
売上総利益	289,015	233,094
販売費及び一般管理費	398,172	338,256
営業損失(△)	△109,156	△105,161
営業外収益		
受取賃貸料	2,424	4,047
貸倒引当金戻入額	7	62
雑収入	284	874
営業外収益合計	2,716	4,984
営業外費用		
支払利息	3,416	3,503
雑損失	11	30
営業外費用合計	3,428	3,534
経常損失(△)	△109,868	△103,711
特別利益		
保険解約返戻金	5	-
特別利益合計	5	-
特別損失		
固定資産除却損	214	890
特別損失合計	214	890
税引前四半期純損失(△)	△110,078	△104,602
法人税、住民税及び事業税	2,132	2,018
法人税等調整額	△31,171	△28,423
法人税等合計	△29,039	△26,404
四半期純損失(△)	△81,038	△78,197

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成28年9月1日至平成28年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整 (注)1	四半期損益計算 書計上額 (注)2
	通信販売	店舗販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	157,651	544,791	702,442	—	702,442
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	157,651	544,791	702,442	—	702,442
セグメント利益又は損失(△)	△15,110	△2,038	△17,148	△92,007	△109,156

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△92,007千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自平成29年9月1日至平成29年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整 (注)1	四半期損益計算 書計上額 (注)2
	通信販売	店舗販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	113,219	483,374	596,593	—	596,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	113,219	483,374	596,593	—	596,593
セグメント利益又は損失(△)	△18,033	1,161	△16,872	△88,289	△105,161

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△88,289千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において、2期連続の営業損失を計上し、最終損益についても、減損損失の計上や繰延税金資産の取崩し等もあり、前事業年度389百万円と多額の当期純損失を計上することとなりました。営業活動によるキャッシュ・フローは、前事業年度48百万円と少額ながら黒字を連続して確保しておりますが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。

当社としましては、営業黒字に転換すべく策定した中期事業計画を確実に実施し、収益力の回復、経営基盤の強化に努めて参ります。また、資金面につきましては、安定的に調達を確保出来ていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

なお、文中の将来に関する事項につきましては、本資料発表日現在において当社が判断したものであり、今後の様々な要因により異なったものになる可能性があります。

(2) 生産及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績を品目ごとに示すと、次の通りであります。

品目	生産金額(千円)	前年同四半期比(%)
ラスク	108,286	80.6
洋生菓子及びその他焼菓子等	126,169	97.7
パン	114,959	86.3
合計	349,414	88.1

(注) 1 金額は、製造原価によっております。

2 「洋生菓子」と「その他焼菓子等」は管理上区分が困難であるため、一括して記載しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	品目	販売金額(千円)	前年同四半期比(%)
通信販売	ラスク	90,215	66.3
	その他焼菓子等	19,851	109.5
	洋生菓子	2,401	120.7
	パン	751	54.7
	計	113,219	71.8
店舗販売	パン	153,340	93.9
	ラスク	98,263	74.1
	洋生菓子	86,451	97.5
	その他焼菓子等	81,301	95.5
	料飲	64,015	85.3
	計	483,374	88.7
	合計	596,593	84.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。